

鳥獣被害防止総合支援事業の評価報告(平成24年度報告)

青森県

1 被害防止計画の作成数、特徴等

被害防止計画13件(うち事業実施分は6件)

ニホンザルの農作物被害がある地域では、生息頭数調査や箱わなによる捕獲などの「個体数調整」、指導員の育成及びモンキードックや発信器を利用した見回りによる追い払い実施等の「被害防除」、緩衝帯の設置や放任園除去等による「生息環境整備」を組み合わせ効果的な取組を実施し、さらに農作物被害が大きい市町村では電気柵による被害防止対策を実施している。また、被害防止体制としては、下北地域でニホンザルの生息域を包囲して効果的に対策を行うために4市町村の広域連携による対策を実施しており、その他の地域ではそれぞれの市町村が単独で取り組んでいる状況である。

その他、ツキノワグマ、カラス、ノウサギ、カルガモ、アライグマについては、箱わなによる捕獲や追い払いなどを組合わせて実施した。

2 事業効果の発現状況

広域連携において対策を行っている下北地域では、積極的にGPSを活用したニホンザルの行動調査を実施した結果、行動ルートや行動パターンが明確になり、捕獲機材の導入と併せて効果的な捕獲が実施できた。また、研修会や他県の調査等を実施して人材育成を行い、被害対策や生育調査を実施できた。

今別町や弘前市では、市町村域において被害防止の取組を行っており、地域住民と連携しながらの追い払いの実施、緩衝帯や電気柵等の設置、箱わなによる捕獲などの地域ぐるみで対策に取り組むことで、農作物被害金額や面積の減少及びニホンザル等の個体数調整の強化、研修会等開催による人材の育成が図られた。

3 被害防止計画の目標達成状況

今別町鳥獣被害防止対策協議会では、ニホンザルについて、銃器や人による追い払いや緩衝帯の整備等により出没しにくい環境づくり等が効果をあげ、被害額は38万円、被害面積も0.32ヘクタールと大幅に減少した。また、他のカルガモ、アナグマ、ノウサギもほとんどなくなったことから、被害額及び被害面積とも目標値を大きく上回った。

弘前市鳥獣被害対策協議会では、人材の育成・確保や箱わなによる捕獲等の取組を強化したものの、例年のない大雪の影響でノウサギによるりんご樹体被害が大幅に増加したことから、全体として被害金額は目標の35パーセント、被害面積は目標の94パーセントとなり計画を達成できなかった。しかし、ノウサギの被害を除く他の鳥獣被害の合計では被害金額で91パーセント、被害面積で123パーセントとなり、目標をほぼ達成しており鳥獣被害防止対策の効果は上がっている。

下北半島のニホンザル被害対策市町村等連絡会議では、市町村の広域連携により被害防止対策に取り組んだ結果、被害金額は275万円となり、前年に比較して約2割減少して目標を達成した。また、被害面積も前年に比較して0.3ヘクタール減少したものの、ニホンザルの頭数増加に伴う群数の増加や遊動域の拡大により目標の44パーセントの達成率となり目標達成には至らなかった(平成22年度の現状値8.2ヘクタールに対する達成率とすると76パーセント)。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	都道府県の評価
										被害金額			被害面積				
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		
今別町鳥獣被害防止対策協議会	今別町	H23年度～H24年度	ニホンザル、カルガモ、ノウサギ、アナグマ	・箱わな導入 ・電動ガン導入 ・緩衝帯設置 ・花火による追い払い ・銃器等による追い払い実証 ・生息頭数調査	・箱わな1基(H23) ・電動ガン7丁(H23) ・緩衝帯設置1カ所(H23,H24) ・花火による追い払い64千発(H23、H24) ・銃器等による追い払い実証4地区(H23、H24) ・生息頭数調査4地区(H23)	今別町鳥獣被害防止対策協議会			ニホンザル被害防止対策として実施した花火等による追い払いは効果があるが、慣れることにより、追い払い効果は薄くなる傾向にある。 また、緩衝帯の設置は、被害の防止に顕著な効果が見られ、設置した地区ではニホンザルの出没回数が激減したものの、未設置の他地区での被害が増加する傾向にある。 その他、銃器等による追い払い実証に関しては、確実に効果があることが確認されたものの、出没地域や時間を正確に把握する必要があり、どのような方法で把握するか等課題が残った。	ニホンザル 105.1万円 カルガモ 4.2万円 ノウサギ 29.5万円 アナグマ 14.5万円 合計 153.3万円	ニホンザル 38.0万円 カルガモ 0.0万円 ノウサギ 0.0万円 アナグマ 0.0万円 合計 38.0万円	ニホンザル 164% カルガモ 198% ノウサギ 200% アナグマ 200% 合計 175%	ニホンザル 0.80ha カルガモ 0.10ha ノウサギ 0.45ha アナグマ 0.15ha 合計 1.50ha	ニホンザル 0.32ha カルガモ 0.0ha ノウサギ 0.0ha アナグマ 0.0ha 合計 0.32ha	ニホンザル 153% カルガモ 200% ノウサギ 200% アナグマ 200% 合計 174%	緩衝帯を整備した大川平地区では、ニホンザルの被害は激減したものの、畑を餌場し、津軽半島で個体数が増加していることから、緩衝帯が未整備地区では農作物被害は増加傾向にある。 また、追い払いは確実に効果があるものの、花火は慣れ、銃器等は出没地点の把握等の課題があるため、今後は緩衝帯の設置の他に地域ぐるみでの情報把握は連携した追い払いなど総合的な活動が必要である。 その他対象鳥獣については被害は報告されていないものの、引き続き被害等に留意していく必要がある。	ニホンザルの被害を軽減するために銃器等を活用した追い払いや緩衝帯の設置などに取り組んだ結果、全体の達成率は被害金額で170%、被害面積は174%と目標を大きく達成している。 今後とも、ニホンザルの被害防止のために緩衝帯の設置や、地域ぐるみの追い払い等の体制づくりに取り組むなど被害防止対策の継続が必要である。 また、その他の鳥獣に関しては被害は報告されていないが、生息数増加等に留意する必要がある。

弘前市鳥獣被害防止対策協議会	弘前市	H20年度～H24年度	ニホンザル、ツキノワグマ、カラス、カルガモ、ノウサギ、	・猿害防止用電気柵の設置 ・電動ガン導入 ・サル等鳥獣講演会開催 ・パチンコの導入 ・箱わなの導入 ・花火、忌避剤等の導入 ・侵入防止資材の導入 ・追い払い機導入	・750m(H20)、2000m(H21、22)、1800m(H23)、3130m(H24) ・電動ガン8丁(H20) ・サル講演会(H23)、アライグマ講演会(H24) ・パチンコ10台(H21)、40台(H22) ・箱わな4基(H21)、16基(H22)、12基(H23) ・花火2470本、爆竹50箱、忌避剤20本(H23) ・有刺鉄板10枚、ネット2枚(H24) ・投光器1基、バリアトーン1基(H24)	弘前市鳥獣被害防止対策協議会	H20.9～H21.8～H22.9～H23.7～H24.8～	100%	猿害防止用電気柵の効果は大きく、設置した圃場では被害が大きく減少したが、定期的な草刈りなどメンテナンスを十分に行う必要がある。 その他の被害防止対策の資材等(忌避剤・花火等)は効果はあるものの、人手が必要だったり、慣れに従って効果が薄れたりと一時的・限定的な効果と思われた。 直接、個体数調整を行う銃器・箱わなによる捕獲は効果があり継続して実施していくこととしている。	ニホンザル 1,030万円 ツキノワグマ 880万円 カラス 910万円 カルガモ 70万円 ノウサギ 700万円 合計 3,590万円	ニホンザル 1,117万円 ツキノワグマ 830万円 カラス 1,004万円 カルガモ 52万円 ノウサギ 1,591万円 合計 4,594万円	ニホンザル 80% ツキノワグマ 113% カラス 76% カルガモ 161% ノウサギ -194% 合計 35%	ニホンザル 3.3ha ツキノワグマ 2.8ha カラス 3.0ha カルガモ 3.6ha ノウサギ 2.3ha 合計 15.0ha	ニホンザル 3.5ha ツキノワグマ 2.6ha カラス 3.1ha カルガモ 2.3ha ノウサギ 3.9ha 合計 15.4ha	ニホンザル 86% ツキノワグマ 117% カラス 92% カルガモ 187% ノウサギ -78% 合計 94%	主要鳥獣のニホンザル・ツキノワグマは、地域ぐるみで対策を実施することにより、体制づくりができ、追い払い等の効果も上がっているため、今後も継続して実施していくこととする。 ただし、ニホンザルやカラス等は個体数が増加しており、特にニホンザルについては今後も被害の発生が拡大すると推測されることから、電気柵等また、捕獲従事者が高齢化等により減少傾向にあるため、育成・確保のための対策を継続する必要がある。 ノウサギについては、対策を講じたものの、記録的な大雪により、食害を受けやすかったこと、猟銃による捕獲が困難であったことから、目標を達成できなかった。今後も継続して捕獲していく必要がある	ツキノワグマ、カルガモは、追い払いにより被害金額、被害面積とも目標を達成した。 ニホンザルは、電気柵や追い払いにより被害軽減効果が高いことが判明したものの、電気柵未設置地区で被害が拡大傾向となっている。 カラスは、箱わな等により計画的に捕獲されているが被害地域が広く目標を下回った。 また、平成24年度は例年のない大雪で春先にノウサギによるりんご樹体被害が非常に多く発生し、被害額が大きく増加したことから、非常に難しいものの関係機関連携した取組が必要である。 ノウサギ被害を除くと被害達成率は被害額で91パーセント、被害面積で123パーセントとなり、概ね達成していることから、今後はノウサギ被害の防止対策等が重要である。
下北半島のニホンザル被害対策市町村等連絡会議	むつ市 大間町 風間浦村 佐井村	H20年度～H24年度	ニホンザル	・箱わなの導入、設置による捕獲 ・ニホンザル生息調査 ・モンキードッグを活用した追い払い ・緩衝帯整備等	・箱わな6基(H20)、2基(H21)、5基(H22)、6基(H23)、13基(H24) ・下北全域調査(H20～H24) ・モンキードッグ導入1頭(H22)、3頭(H23) ・緩衝帯整備320㎡(H22)、140㎡(H23)	下北半島のニホンザル被害対策市町村等連絡会議			モンキードッグを活用した追い払いについては、平成22年度に導入した1頭に加え平成23年度に3頭を導入し、むつ市大畑地区、大間町、風間浦村、佐井村の4市町村に1頭ずつ配置したほか、むつ市独自で導入した2頭の計6頭で、追い上げを行い、その効果がみられている。 GPSを活用した行動域調査により行動ルート等が明確になり、箱わな導入と併せて各市町村で捕獲の効果が上がっているが、下北半島全体のニホンザルの増加に追いつかない状況であり、被害拡大が懸念される。	ニホンザル 300万円	ニホンザル 275万円	ニホンザル 116%	ニホンザル 3.50ha	ニホンザル 5.00ha	ニホンザル 44%	平成23年度にモンキードッグが各市町村に配置されるとともに、人材の育成も進んだことから、モンキードッグの導入効果が実証され、ニホンザルの群れによる被害は減少させることができた。 また、箱わな等の機材の導入により効果的な捕獲活動が行われ、加害群の個体数調整は順調に実施されている。 一方、群れで行動しないニホンザルのハナレグループやハナレザルの出没が多発しており、発見が遅れたり、新たな地域の被害が拡大していることから、これらのニホンザルへの対応が今後必要である。	モンキードッグが各市町村に配置され、本格的に活動したことから被害金額は減少し、目標を上回った。 しかし、下北半島のニホンザルの頭数増加、遊動域の拡大、群れの分裂により新たに被害地が増加したことにより被害面積は目標に至っていない。 下北地域は捕獲技術等のレベルが高く、リーダーとなる人材育成、モンキードッグによる一斉追い上げを実施するなど、他の地域における広域連携のモデルケースとなっていることもあり、今後とも被害防止体制の強化が必要である。

5 第三者の意見

コメント
【今別町鳥獣被害防止対策協議会(鳥獣保護員 平山 辰五郎)】 現状では、ニホンザルの農作物への被害等、鳥獣被害を防止し減少させていくために、緩衝帯の設置及び銃器等による個体数の調整が効果的であるが、費用対効果の面からは銃器等による捕獲が一番効果が期待できると思われる。
【弘前市鳥獣被害防止対策協議会(獣医師及び鳥獣保護員 三上 幹雄)】 捕獲従事者である猟友会員が減少傾向にあるため、引き続き「担い手育成事業」を実施してもらいたい。これまでの計9名の増加だけでは不十分であり、更なる増員を図る必要がある。また、サルやカラスが民家付近で出没した場合、猟銃による捕獲が行えないため、農家にも扱えるより効果的な追い払い物品の試験・導入を行うなど、一層対策に取り組んでいただきたい。さらに、現在サルの生息数が増加しており、生息域も拡大傾向にあるため、電気柵を継続して設置することが被害を防ぐためにも重要である。近年急増しているアライグマに対しても、箱わなの導入など、対策を引き続きお願いしたい。
【下北半島のニホンザル被害対策市町村等連絡会議(獣医師 柴田 憲明)】 ニホンザル保護管理専門員並びに実施隊の増強による監視・捕獲体制の充実と電気柵設置区域の拡大及びモンキードッグ配置による被害防止効果が現れており評価される。一方、体制整備を上回る規模での頭数増と群れの分裂によると思われる生息域の拡大と電気柵未設置区域において新たな被害が発生している。この傾向は今後も避けられ無いものと見られ、遊動域が広がることでさらなる被害の増大が考えられる。このことは、電気柵未設置区域への設置推進と維持監理の徹底、老朽化した電気柵の更新、各地区への導入されたモンキードッグの市町村間の壁を越えた広域連携による効率的な効果的運用と被害対策実施隊員の増員並びに農地・人家周辺環境の整備の推進、さらには捕獲わな以外による直接捕殺の検討など、より強力に効果的な対策を進める必要がある。